

飲食店の未来を変える 自動化・省力化ガイドブック

—省力化投資促進業界行動計画—



飲食業における省力化投資促進業界行動計画策定検討委員会

農林水産省  厚生労働省

(参考資料)

することリスト(業務項目一覧)

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gaisyoku/syoryokuka.html>

はじめに

飲食業は、社会インフラとして欠かせない存在であり、約400万人の大きな雇用を創出している一方で、調理や盛り付け、接客等、人手を要する工程が多い典型的な労働集約型産業であることから、労働生産性は他業種と比較しても極めて低くなっています。また、人手不足も顕著であり、経営が立ち行かなくなる事業者も散見されています。

これらの課題に対応するためには、設備やITシステム等の導入による省力化を進めることにより人手不足に対応しつつ、空いた時間を活かし、消費者へのサービスの質や付加価値(対価性)の向上による売上拡大、賃金への反映、働きやすさ・働きがいのある職場の形成に取り組んでいただくことが重要です。

このため、政府では、省力化投資の促進や、労働者確保のための賃上げ、円滑な価格転嫁に向けた環境整備に取り組んでいます。特に、今後5年間で集中的な省力化投資と生産性向上を実現するため、飲食業を含む、人手不足が顕著な12業種を対象に「省力化投資促進プラン」を策定しました。

このような中、今般、飲食業における省力化投資について検討委員会で議論し、「省力化投資促進プラン」をさらに具現化したガイドブック(業界行動計画)を策定しました。特に、中小規模の飲食事業者の皆様が、自動化技術やITツール等を導入し、活用するための参考としてお使いいただけるよう、具体的な取組の種類やメリット・進め方等を示しています。

本ガイドブック(業界行動計画)を活用していただき、多くの飲食店で省力化投資の取組が進むことを期待しています。

令和8年2月

飲食業における省力化投資促進業界行動計画策定検討委員会
農林水産省
厚生労働省

